

メイプル通信 Newsletter



福岡カナダ協会広報誌

Fukuoka
Canada
Society

2000.1

創刊号

発刊によせて

福岡カナダ協会員の皆様、明けましておめでとうございます。当協会は、昨年、日本とカナダの国交樹立70周年という記念すべき年に、多くの方々の御賛同と御支援を賜り、9月30日に設立されました。

現在まで、法人会員95社、個人会員265名の方々に御入会いただき、大変嬉しく思います。

この度、当協会の会報誌「メイプル通信」の創刊号を発行することとなりました。英語でカエデを意味する「メイプル」は国旗にも描かれているようにカナダのシンボルであり、カナダの美しく、豊かな自然を表していることから、会報の名称に用いることといたしました。

さて、12月15日には、福岡カナダ協会初めての行事として、クリスマスパーティーを開催しましたところ、約230名の方に参加していただき、盛大に、楽しくパーティーを行うことができました。

このようにカナダに関心をお持ちの方が、多数いらっしゃることは当協会としても大変心強い限りです。

今年は、新しいミレニアムを迎える年で、当協会にとってもますます発展し、飛躍の年でありたいと願っています。

具体的には講演会等、各種行事の開催や文化活動の支援など積極的に展開したいと考えております。

また、9月には設立1周年を記念して、カナダの表敬訪問を計画しています。カナダはハイテク産業が立地する近代化された都市とカナディアン・ロッキー・ナイアガラなど雄大な自然が共存する大変魅力的な国で、9月から10月にかけては美しい紅葉も楽しめるということです。是非多くの会員の皆様と一緒にカナダを訪ね、カナダに関する知識をさらに深めたいと楽しみにしています。

今後とも、福岡県における日本とカナダの文化、経済、科学技術などの交流を一層深めるとともに、両国民の親睦のために努力していく所存ですので、御支援と御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

最後に、会員及び御家族の皆様方の御健勝と御多幸を心から祈念しまして、私の挨拶といたします。

福岡カナダ協会会長 錦田迪貞



福岡カナダ協会のみなさまへ

早いもので、福岡へ着任してから4か月が経ち、その間、夏の終わりの暑さ、紅葉、そして美しい雪さえも経験することができます。九州は私にとって初めての地であり、美しい景色を楽しみながら、そしてすばらしい方々と一緒に仕事をしながら、ここに暮らすことができるのを大変光栄に思っております。

また、私の着任一週間後に福岡カナダ協会が発足しましたことは大変幸運でした。協会の目的と、私たち領事館の目的とは合致するものでありますので、今後末永く、お互いに手を取り合って協力していくものと確信しております。

クリスマスパーティーにあれほどたくさんの方々が参加されましたこと、また、参加された皆さんのかなだに対する関心の強

さをみて、大変強い印象を受けました。今後の協会のイベントについても、ひきつづき会員の皆様の高い関心と熱意を心から期待するものであります。これからもさまざまなプロジェクトにおいて、協会の会員の皆様との協力と親交を大変楽しみにしております。

皆様と御家族にとりまして、2000年がすばらしい年になりますようお祈りいたします。

在福岡カナダ領事館 領事 ジョシアン・シモン



福岡カナダ協会設立総会

福岡カナダ協会設立総会が、9月30日に福岡市天神のソラリア西鉄ホテルで開催されました。

総会の席上、九州電力株式会社の鎌田迪貞社長が、初代会長に選ばれ、名誉会長にはエドワーズ駐日カナダ大使が御就任くださいました。また、名誉顧問、名誉副会長、その他の役員もそれぞれ決まりました。(最終頁をご参照ください)

総会には、設立発起人各社の代表と、法人・個人会員約150名が出席し、設立趣意書、会則、事業計画、予算案などが議案として提出され、全議案が満場一致で承認されました。総会の席上、麻生渡福岡県知事から御祝辞をいただき、各界の方々から祝電も多数いただきました。



駐日カナダ大使の記念講演

演題：「カナダと日本・新しい千年紀における二国間の関係」



Profile

レナード・エドワーズ氏

大使は、1946年(昭和21年)カナダ連邦サスカチュワン州のメルフォート生まれ。1969年、サスカチュワン大学で修士号を取得。同年、カナダ外務・国際貿易省に入省、その後オタワの本省での勤務のほか、アジア、ヨーロッパの各国で活躍して、1991年から94年まで駐大韓民国カナダ大使として勤務、その後はハリファックス・サミット運営本部長やAPECの貿易経済政策担当審議官としてテンバーサミットでの首席補佐官を務めた後、1998年1月に駐日カナダ大使として着任。

註：大使の講演の通訳は、カナダ領事館は勿論、九州での各種の国際的な行事で活躍しておられる、池田愛美様がボランティアでお引き受けくださいました。

鎌田会長、麻生知事、福岡カナダ協会会員の皆様、福岡カナダ協会の設立にあたり福岡を訪れることができましたことを私も妻も心からうれしく思っております。

福岡・九州におけるカナダの存在が大きく前進するこのすばらしい日にお招き頂き、大変光栄です。

長期的な友好関係を築く上で、このような協会の存在が必要不可欠であると私は確信致します。カナダに関心を持ち、そして当協会を設立してくださった皆様方に心から感謝致します。

また、鎌田会長におかれましては、すでにお仕事で重責を担っていらっしゃるにもかかわらず、本協会のリーダー役をお引き受け頂き、誠に有難うございます。これから、ともに活動させて頂けることをカナダ側一同楽しみに致しております。

カナダはかつてないほどの関心をこの九州に寄せています。今回の訪問は私にとって、直接九州について学び、理解するためのよい機会であります。

カナダは、とくに日本で高まりつつある地域経済の重要性とダイナミズムを理解しなければなりません。

九州にカナダ領事館を開設して八年間、皆様のおかげで私どものみならずカナダの輸出業者から一般の旅行者に到るまで、暖か



く迎え入れていただいています。

皆様のお力添えにより、プレフォンテン領事および領事館スタッフは過去四年間、多くのことを成し遂げることができました。

残念ながら、プレフォンテン領事夫妻は明日本国へ転勤します。

そして、後任のジョアン・シモン領事を御紹介致します。彼女はきっとすぐに皆様と親しくなり、通商拡大の仕事やその他の面でも熱心に取り組んでくれることでしょう。

シモン領事の着任は実に時宜を得たものです。ビジネスのみならず他の分野でも新たなチャンスが開けてくることでしょう。これと同じことを二週間前訪日したチームカナダは強調しています。チームカナダとは、ジャン・クレティエン首相率いる250人のビジネスマン、および各州・準州の首相13名のうち11名が参加した大規模な経済ミッションです。

日加関係の将来にチームカナダがどのように貢献したかについて簡単に紹介いたします。

私達は日加両国が直面している共通の課題、高齢化社会、若者、保健医療などの社会政策分野で互いに学び合うべく、両国の社会学者と政府関係者が会合を重ねております。

1998年には、1万人以上の日本人が各分野での勉強のためカナダに渡っています。今年カナダ政府は5千件のワーキングホリデイビザを発給しており、一方毎年2,000人以上のカナダの若者が日本を訪れております。

また外交政策分野においては、オタワでの対人地雷禁止条約を日加両国が批准したことを受け、政府関係者たちは、中米諸国における地雷撤去に協力的なアプローチをとっています。

チームカナダのメインイベントとして日加共催で行われた「開発のための平和構築」シンポジウムにはNGO、政府関係者、経済界代表、ジャーナリストや学者などが参加しました。

以上、チームカナダ訪日の要点を御紹介しましたが、チームカナダの活動は経済や貿易の分野を中心としたものでした。

クレティエン首相は重要なメッセージとして「日本の皆様には、カナダを高品質の輸入品の出荷元として、また投資のパートナーとして、そして最も重要である永年の友として、これからもお付き合いいただきたい」さらに「将来の経済関係のバイタリティーと成長は、ハイテク分野にかかっている」と述べています。問題は、多くの日本人の間でハイテク分野におけるカナダの存在がほとんど

知られていないことです。チームカナダは、カナダのイメージを強化するため、宇宙開発技術を含む8つのハイテク専門分野に焦点を当てました。

カナダ企業による日本への投資及び業務提携の点でもよい兆しが見えています。その先駆けとなったのがカナダのマニュライフ・ファイナンシャル社による日本の生命保険市場への10億ドルの投資です。

カナダと日本は永年協力し合って来ました。これは政府や企業の活動に限ったことではありません。いろいろな職業のカナダ人が九州に根をおろし地域に受け入れていただいている。国際関係の成功を左右するのは人と人との絆の強さであると私は信じています。

70年前の今月、私の大先輩であるサー・ハーバート・マーラーが初代駐日大使として着任しました。今まで実に多くの人々が日加関係に携わってくださっており

ます。当協会のような団体が、次の70年間の友好関係作りの基盤となってくれることを私達に示してくれています。

温かい歓迎とお心配り、そして御清聴有難うございました。福岡カナダ協会の設立を心よりお慶び申し上げます。

(事務局より:紙面の都合上、内容を要約して掲載致しました。全文を御希望の方は事務局までお申し出ください。)



福岡カナダ協会設立記念懇親会

エドワーズ大使記念講演後の懇親会では、大使御夫妻、各界の御来賓の方々を交え、会員一同楽しく和やかに歓談を致しました。

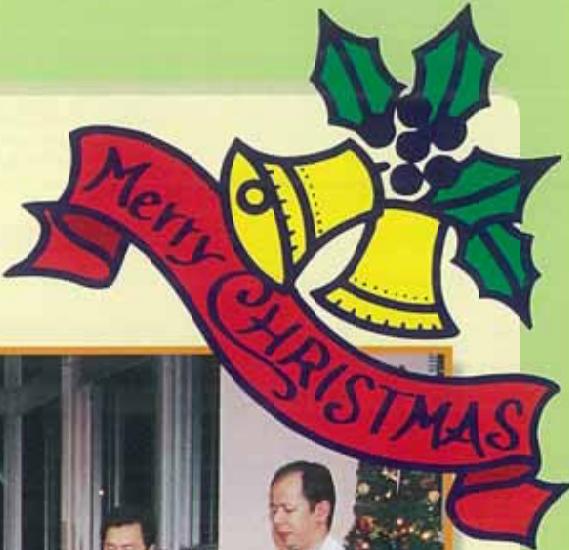
鎌田会長の挨拶、副会長の重潤東陶機器社長の乾杯の御発声についてプレフォンテン領事のお別れの挨拶とシモン新領事の着任挨拶がありました。



150人を超える出席者の皆さんは、カナダビール、カナダワイン、カナディアンウイスキー、それにサーモン、オマールなど、カナダの味に十分満足しておられました。

最後に加藤竺子副会長の御挨拶をもって懇親会はお開きになりました。

初めての クリスマスパーティー



12月15日、福岡力ナダ協会の初めてのクリスマスパーティーを福岡市博多区のペイサイドプレイスで開催しました。会員とその家族、友人の方々と、福岡在住のカナダ人、あわせて約230人が参加しました。

参加する人が、それぞれ食べ物を持ち寄ってのポットラックパーティーは、あまりなじみのない方式でしたので、主催者はすこし心配でしたが、なんと、テーブルにのりきれないほどの御馳走がならびました。参加者一人ひとりが主役のパーティーでした。カナダ産のブルーベリーワインはおいしかったでしょう。

それに、法人・個人会員多数からゲームやくじ引きの景品をたくさん頂いて、最後の最後まで楽しいパーティーでした。

御参加・御協賛くださいました皆様に事務局から厚くお礼申し上げます。

生まれて初めて日本語でMCをやってくれたウエイン・マックスナーさん、はるばる熊本から

駆けつけて、サンタクロース役で子供たちに喜ばれたトニー・ミッセルさん、御苦労様でした。

イエス・ノーゲームのほかに、シモン領事さんがいろいろゲームを考えてくれていたのですが、時間が足りなくて残念でした。

ボランティアとして準備、受付、クローケ、進行、後片付けなど手伝ってくださった高校生、大学生、そのほか大勢の方々に、心から感謝致します。

(写真は株住宅九州新聞の田中昌信様のご提供です)



お知らせ:忘れ物

パーティーに持ってこられた器で、ブルーの陶器のお皿と、重箱風の器、ステンレスの籠(約20cm角)を預かっています。お心当たりの方は事務局までお知らせください。

【ここで福岡カナダ領事館をご紹介しましょう。】

福岡カナダ領事館は福岡市中央区渡辺通、薬院新川沿いの福岡トヨタビルの9階にあります。領事館の本業の仕事は、通商促進業務です。1991年にオープンしたときの領事はピエール・デロームさんで、11月のオープンから翌年2月末までは、秘書兼オフィスマネージャーの春田さんと二人だけのため、たいへんだったそうです。翌年3月からは、現福岡カナダ協会の松尾事務局長が専務官として加わりましたので、やっと本来の3人体制になりました。

1995年以降、2代目のベンワ・ブレフォンテン領事の時代になってからは、本来業務の貿易促進に加えて文化交流の面にも力を入れるようになりました。

ブレフォンテン領事・植村和浩専務官それに春田さんの後任の原典子オフィスマネージャーのトリオで、すばらしい業績をあげました。ブレフォンテン領事は、福岡在勤中結婚した名古屋出身の準子夫人と、博多生まれのたくみちゃん(2歳)と一緒に、設立総会の翌日、10月1日に本省に栄転しました。

3代目がジョシアン・シモン領事です。高校時代千葉に留学していましたし、その後も日本での生活経験がありますので、日本語は達者です。設立総会の後の懇親会のとき、原稿を読まずに日本語で挨拶したのを覚えておいでの方も多いでしょう。ケベック州出身ですからフランス語育ちです。大学はマックギル大学、海外勤務は、モスクワ、チリのサンティアゴに次いで、福岡が3度目です。



子供の頃、おばあちゃんがそば粉でパンケーキをよく作ってくれたそうです。カナダでそばができるなんて知っていましたか。

植村和浩専務官は、高校までは鹿児島ですが、神戸外大を出て電器メーカーに勤務、その経験をいかして、1993年春カナダ領事館にはいりました。本人によるとテニスが得意だそうです。

オフィスマネージャーの原さんは、領事館の受付業務、総務一切、領事事務の仕事などを担当しています。弓道二段、剣道初段です。1月からは産休に入りますので、古川智子さんが代わりに来られます。

古川さんは、シモン領事と同じマックギル大学に3年間留学し、昨年7月に帰国したばかりです。剣道三段です。

【福岡カナダ協会事務局が移転しました。】

昨年春から、福岡カナダ協会設立準備事務所として、福岡カナダ領事館に仮住まいしていましたが、このたびマニュライフセンチュリー生命保険株式会社の御好意で、事務局を同社の福岡支社におかせて頂くことになりました。住所は下記のとおりです。

〒812-0039福岡市博多区冷泉町5-32 第百KSビル8F
マニュライフセンチュリー生命保険(株)福岡支社内
電話:092-271-5141 FAX:092-272-2405
福岡カナダ協会の直通は、電話/FAX:092-271-2203
(地下鉄祇園駅2番出口、西鉄奥の堂バス停そばです)

御来訪大歓迎です。しかし火・木曜日は不在のことが多いので、なるべく月・水・金曜日においでください。前もって御連絡頂くと助かります。FAXは常時受信しています。

●マニュライフセンチュリー生命保険株式会社とは、

マニュライフセンチュリー生命保険株式会社は、カナダ最大手の保険会社であるマニュライフ・ファイナンシャル社(本社トロント)と第百生命保険相互会社(本社東京都調布市)が合併して設立した会社です。

エドワーズ駐日大使は設立総会の記念講演で、これは1999年におけるカナダの最大の対日投資であると取り上げておられます。こんな御縁があり事務局をおかせて頂くことになりました。

マニュライフ・ファイナンシャル社は世界13カ国、250の地域に営業拠点を有し、アジアへ進出して100年以上の歴史を持っています。

新会社は1999年4月1日に設立され、誕生と同時に世界的な格付け機関であるスタンダード&プアーズ社から国内生保でもトップクラスの評価を受けております。

福岡支社が入居している第百KSビル8階には約40名の社員がいます。北九州市小倉北区室町には北九州営業所があります。

皆さんは「ちょっと言いにくい名前ですが。。。」というTVCMを御覧になりましたか。ノンスマーカーを対象にした「すわんRight」「すいません」という保険が特色だそうです。

カナダ表敬訪問の実施について

福岡カナダ協会では設立1周年を記念して、会員相互の親睦を図り、カナダに関する知識を深めることを目的に、次のとおり表敬訪問を実施いたしますので、御参加くださいますようお願い申し上げます。

1 実施時期

平成12年9月18日(月)以降…各コースで出発日、日数が異なります。

2 実施概要

- ・参加者は希望するコースを選択してください。
- ・各コースの出発日は異なりますが、親睦を図るためバンクーバーで集合し、交流会を行うこととします。
(9月22日夜、スタンレー公園内レストランにて開催予定)
- ・政府関係機関を表敬訪問する行程案に付いては、首都オタワにあるカナダ外務・国際貿易省(貿易担当大臣、アジア局長、日本担当局長)訪問、国会議事堂見学などを行う予定です。

3 コース(案)

(単位:万円)

| 案 | 主な訪問先 | 期間 | 日数 | 旅行代金 | | ビジネスクラス 利用料金 |
|---|-----------------------------|---------|------|--------|---------|-----------------|
| | | | | デラックスP | スーパーリアP | |
| A | オタワ(表敬訪問)～ケベック～ナイアガラ～バンクーバー | 9/18～25 | 6泊8日 | 40～45 | 35～40 | +45 |
| B | ナイアガラ～カナディアンロッキー～バンクーバー | 9/18～25 | 6泊8日 | 35～40 | 30～35 | +45 |
| C | カナディアンロッキー～ピクトリア～バンクーバー | 9/18～25 | 6泊8日 | 30～35 | 約30 | +35 |
| D | ピクトリア・バンクーバー | 9/21～26 | 4泊8日 | 20～25 | 約20 | +30～35 |
| E | バンクーバー(フリープラン) | 9/21～26 | 4泊8日 | 18～20 | 16～18 | +30～35 |

(注)・予算は現在旅行会社と調整中ですので、目安としてください。

- ・宿泊ホテルは2名1室利用
- ・航空機はエコノミークラスを利用予定。(ビジネスクラス利用料金を別掲)
- ・催行最低人員20名

4 訪問先での宿泊ホテル(予定)

| 訪問先 | デラックスプラン | スーパーリアプラン |
|---------|---------------|----------------|
| オタワ | シャトーローリエ | シェラトンオタワ |
| モントリオール | インターモンチネンタル | クラウンプラザ |
| ナイアガラ | シェラトンフォールスビュー | スカイラインフォックスヘッド |
| バンフ | バンフスプリングスホテル | バンフバーコロッジ |
| ピクトリア | ホテルエンプレス | ホテルエンプレス |
| バンクーバー | ホテルバンクーバー | ルネッサンス・バンクーバー |

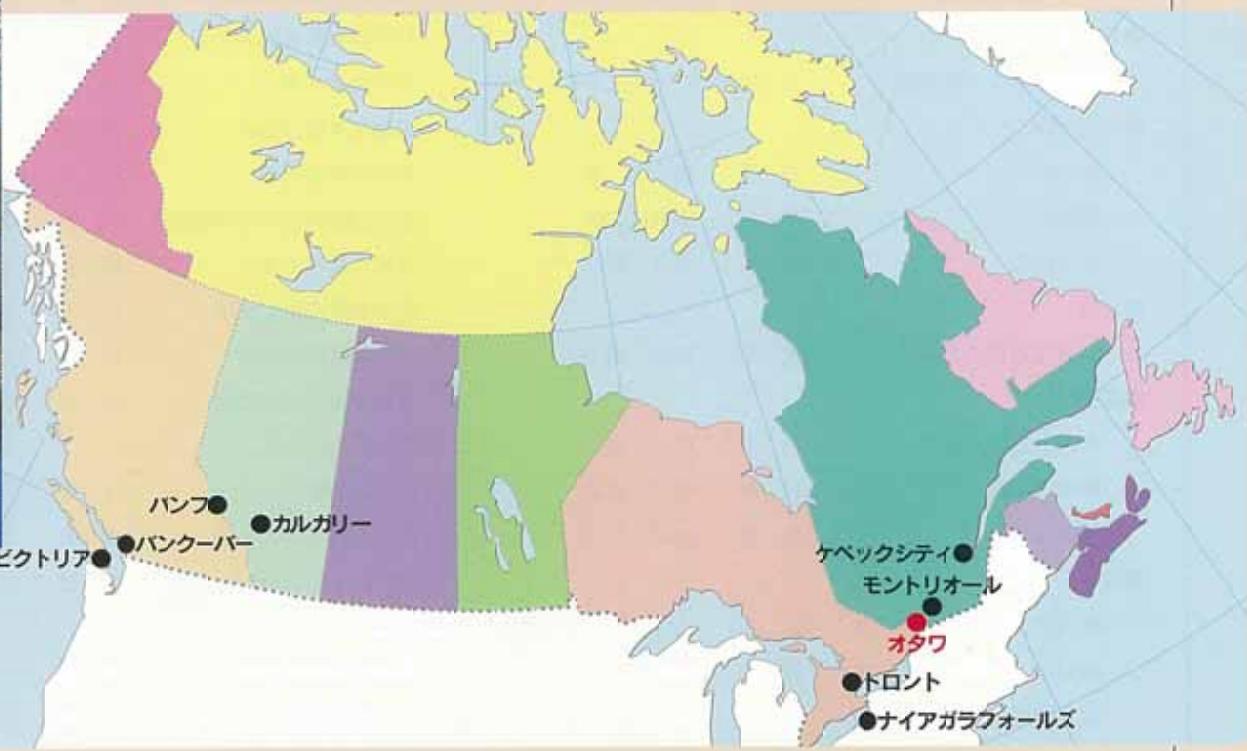
5 申込方法

電話またはFAXで事務局まで御請求くださいれば「参加申込書」をお送りいたします。

6 事務局連絡先

〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5-32 マニュライフセンチュリー生命保険㈱内

電話・FAX 092-271-2203



カナダの国土は、アルバータ州、ブリティッシュ・コロンビア州、マニトバ州、ニューブランズウィック州、ニューファウンドランド州、ノバ・スコシア州、オンタリオ州、プリンス・エドワード・アイランド州、ケベック州、サスカチュワン州の10州ヒノースクエスト準州、ヌバット準州、ユーコン準州の3準州から成っている。

CANADA MAP



■カナダの概要

面積：9,970,610km²（ロシアに次ぎ世界で2番目に広い国）

気候：広大な国土に応じて気候も多様。北緯70度以北には氷結の山頂氷河があり、西海岸の米加国境沿いの地域には豊かな雨林が広がっています。

人口：約3,028万人（1997年7月カナダ統計庁調べ）

主要都市：トロント（389万人）、モントリオール（312万人）、バンクーバー（160万人）、首都圏オタワ・ハル地域（92万人）

福岡カナダ協会役員名簿

●名誉会長

駐日カナダ大使 レナード・エドワーズ

●名誉副会長

在福岡カナダ領事館 ジョシアン・シモン

●名誉顧問

福岡県 知事 麻生 渡

福岡市 市長 山崎広太郎

北九州市 市長 末吉 興一

●会長

九州電力株式会社 社長 鎌田 通貢

●副会長

株式会社福岡銀行 領取 田中 亮二

東陶機器株式会社 社長 重渕 雅敏

社会福祉法人シティケアサービス 理事 加藤 兼子

●理事

株式会社アステック入江 社長 入江 伸明

岡野バルブ製造株式会社 社長 岡野 正敏

北九州運輸株式会社 社長 荒木 敦

●理事

九州松下電器株式会社 社長 坂井 曜

九州旅客鉄道株式会社 社長 田中 浩二

株式会社九電工 会長 白石 司

西部瓦斯株式会社 社長 平山 良明

株式会社新光出 社長 出光 芳秀

新日本製鐵株式会社八幡製鐵所 所長 萬谷 興亞

株式会社ゼンリン 社長 大迫 忍

株式会社高田工業所 会長 高田賢一郎

鳥越製粉株式会社 社長 山下 義治

西日本鉄道株式会社 社長 明石 博義

福岡県教育委員 緒方世喜子

福岡地所株式会社 社長 横本 一彦

明治屋産業株式会社 社長 谷尾 凱夫

株式会社安川電機 社長 橋本 伸一

●監事

株式会社西日本銀行 領取 古賀 誠二

株式会社福岡シティ銀行 領取 四島 司

事務局から

会員募集のお願い

お陰様で福岡カナダ協会は12月末現在で法人会員95社、個人会員265名を擁する協会となりました。会員の勧誘に御尽力くださいました皆様に厚くお礼申し上げます。福岡県にはまだまだカナダ大好きの方が大勢居られるはずです。そうでない方も、カナダの事を知ればきっとカナダ好きになるに違いありません。これからもお知り合いの方々に御入会をお勧めください。

設立趣意書、会則、役員名簿と一緒に成了した入会申込書を同封致します。また、必要枚数を事務局まで電話・FAXで御連絡くだされば郵送致します。

広報誌創刊号

福岡カナダ協会の広報誌第一号をお届け致します。広報誌は今後4月、7月、10月と、年4回発行する予定です。編集が未熟で申し訳ございませんが、今後会員の皆様の御協力で、充実させていきたいと思っています。

第二号からは、これから事業計画、あまり知られていないカナダ各地の紹介や、会員企業の紹介もしたいと思っています。

皆様からの御意見、御要望、御投稿をお待ちしています。御投稿はカナダ旅行の体験談、カナダ在住の思い出、楽しいお店、おいしいレストラン、お薦めの場所など、etc.etc.カナダに行ったことのない方も、カナダに寄せる想いをどうぞ。

できれば思い出の写真もつけてー